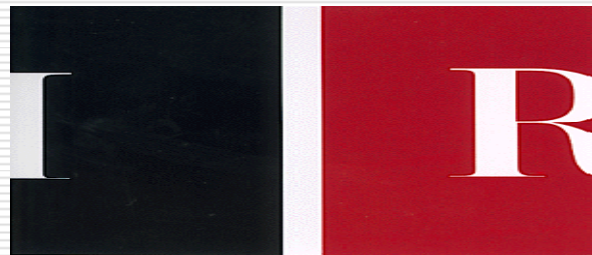


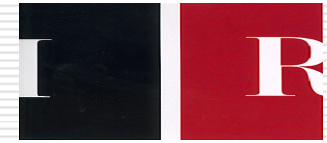
高校生のために社会スタディ

日経エデュケーションチャレンジという試み

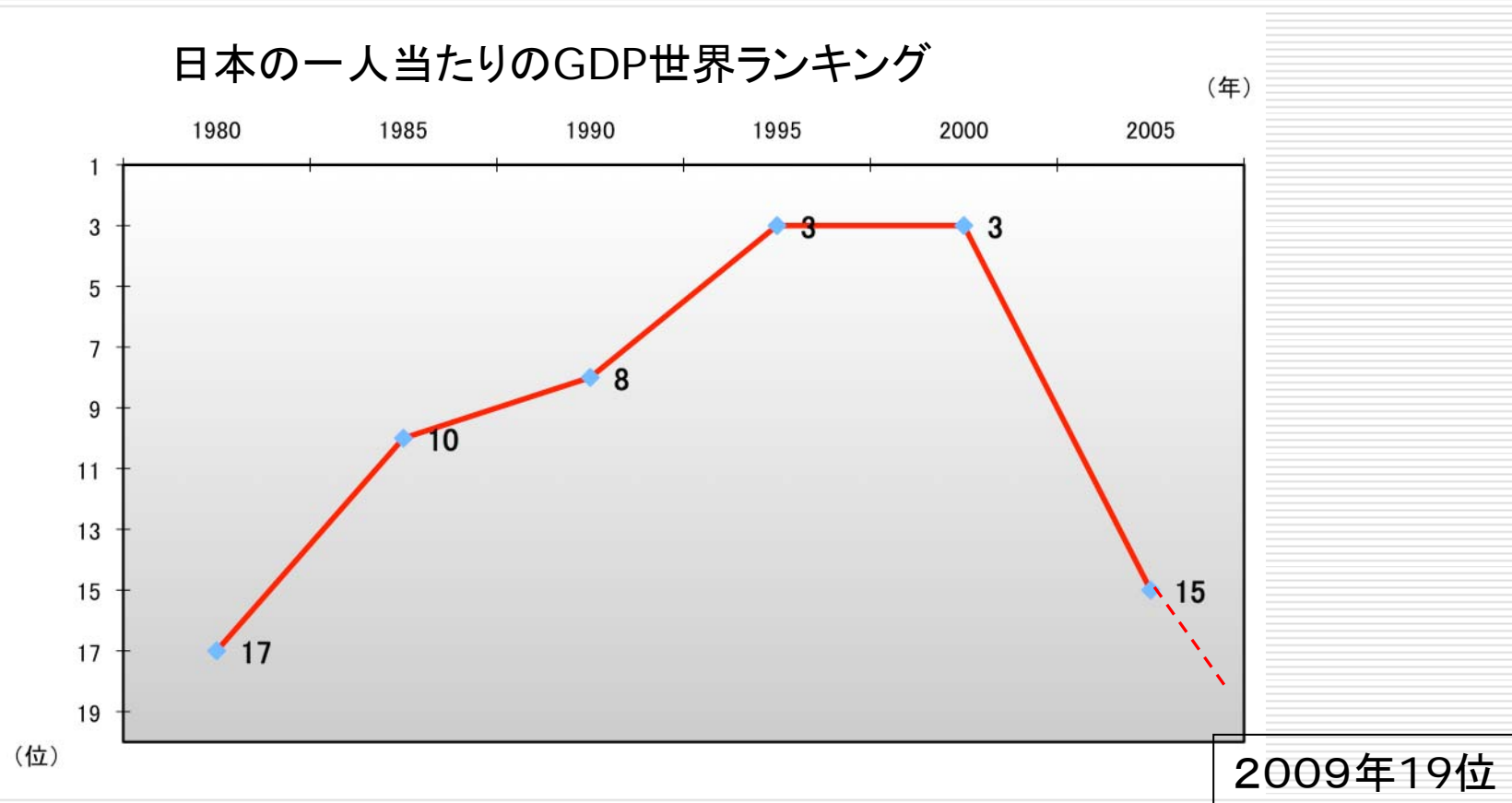
一橋大学イノベーション研究センター
米倉誠一郎

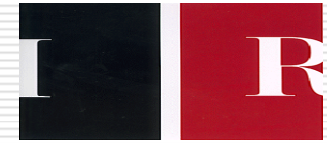


Institute of Innovation Research
Hitotsubashi University



日本の現状：30年前に後戻り？



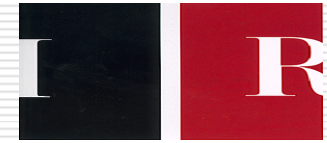


コストカットとリストラと

日本の製造業の営業利益率と付加価値率の推移

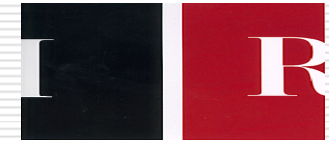


(出所) 財務省「法人企業統計」より作成。



日本の現状から顧みるに高校教育

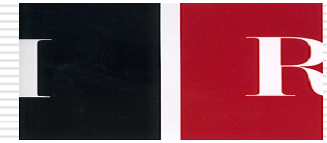
- 基礎的学問(英・数・国・歴史・科学・道徳)の強化
- 厳しい受験勉強は意外と役に立つ
- そのためにはルーティンが重要(毎日少しずつ修練を重ねる)
- しかし、退屈なルーティンを乗り越えるには、「いったい何のために勉強するのか」という未来への指針が必要
- しかも、ルーティンから離れた状況で創造性を喚起する高質な経験が飛躍をもたらす



2001年から10年間 高校生にイノベーションを教える取り組み

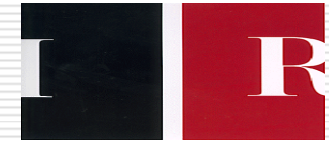
- ◆主催：日本経済新聞社
- ◆後援：文部科学省・経済産業省・東京都教育委員会・経済同友会
- ◆協力：一橋大学イノベーション研究センター
- ◆事務局：教育と探求社
- ◆協賛各社





高校生のための社会スタディの内容

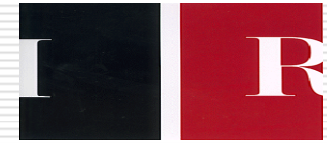
- 実際に企業を率いる経営者、最新技術の開発に挑む研究者、画期的な新製品を世に送り出すビジネスマンなどが実例に基づいた具体的授業を行い、高校生に日本経済の「今」を伝え、企業活動のダイナミズムを体感させるプログラム。
- その生き生きとしたを挙げると、
 - アルバイト社員から社長になった吉野屋の安部社長が牛丼280円を値下げではなくイノベーションとの概念から説明
 - 第一三共の研究者がアメリカ駐在中に、中耳炎薬の開発を日米の混成チームによって成し遂げたプロセスを語る
 - カシオのG-Shock開発者が、父から貰った時計を壊した時に壊れない時計を作ろうと思った動機
 - ロッテ「コアラのマーチ」営業マンの中国におけるキャラクター開発の話



ハード的枠組み（2010年の事例）

	Aクラス	Bクラス	Cクラス
1時間目(90分)	共通講義	共通講義	共通講義
2時間目(90分)	第一三共	クラリオン	国際石油開発帝石
3時間目(90分)	富士通	住友ゴム	日本AEパワーズ
交流会	講師・生徒	講師・生徒	講師・生徒

1. イノベーションに関する共通講義
2. 各社の経営者・ビジネスマン／ウーマンによる実例講義
3. 全体の交流会を通じて学校という枠を超えたネットワーク形成
4. 授業をベースにした「自分にできるイノベーション」に関する作文募集(1200字)＝選考
5. 当日講義と受賞作文の日経全国紙への掲載
6. 受賞者の中国旅行・合宿



ソフト的枠組み

- 受講生を対等の大人として扱う
- 高校生でも世界を変えることはできるという自己肯定を繰り返す
- OB学生・教育と探求社・OB講師による授業内容の徹底的作り込み(3ヶ月・数度にわたる徹底議論)
- 全国紙掲載というインセンティブ
- 小さく纏まるよりも、伸びしろを読み込んだ審査基準
- 中国旅行2泊3日という、さらなるインセンティブ
 - 中国高校の訪問・交流事業・家庭訪問
 - 感想の共有・ディスカッション

日経全面広告として掲載

高校生の意識が変わる。日本の未来がここから変わる。日経エデュケーションフォーラム広告特集

一杯の牛丼を作り上げる 食材の秘密



小さいころから多量にすつと元々木立上原に住んでいました。私が子供のころは、木立上原の中でコム跳びや馬跳びをしたり男の子たちは「ヘー」や「メンコ」をして遊んでいたもので、現在の井の頭通り、当時の「水通路」に寝そべったり、ロウ石でお絵書きしたりして、道路も立派な時代です。

小さいころから多量にすつと元々木立上原に住んでいました。私が子供のころは、木立上原の中でコム跳びや馬跳びをしたり男の子たちは「ヘー」や「メンコ」をして遊んでいたもので、現在の井の頭通り、当時の「水通路」に寝そべったり、ロウ石でお絵書きしたりして、道路も立派な時代です。父はよく散歩がてら、私をいっしょに「ぶ」連れていってくれました。特に覚えていたのが表参道、普通の住宅街だった表参道「オリエンタルバザール」ができて、そこで「プレスト」を買ったけれど、その後、何カ月にも「旅行」を買った。その間に「チャーム」を買って足しにくれました。私自身も、そんな楽しみを分けてくれた魅力に溢れていました。今から二十二年経って、地元の「山あいで」で自給自足の生活をしている人々にふれたことがあり、そして自分が暮らすそんなシンブルな生活が、いつかまた、自分が暮らすそんなシンブルな生活をしていく人々があるんだ。



小さいころから多量にすつと元々木立上原に住んでいました。私が子供のころは、木立上原の中でコム跳びや馬跳びをしたり男の子たちは「ヘー」や「メンコ」をして遊んでいたもので、現在の井の頭通り、当時の「水通路」に寝そべったり、ロウ石でお絵書きしたりして、道路も立派な時代です。

吉野家ディー・アンド・シー

代表取締役社長 安部修仁 先生



小さいころから多量にすつと元々木立上原に住んでいました。私が子供のころは、木立上原の中でコム跳びや馬跳びをしたり男の子たちは「ヘー」や「メンコ」をして遊んでいたもので、現在の井の頭通り、当時の「水通路」に寝そべったり、ロウ石でお絵書きしたりして、道路も立派な時代です。お父さんはよく散歩がてら私をいっしょに連れていってくれました。特に覚えていたのが表参道、普通の住宅街だった表参道「オリエンタルバザール」ができて、そこで「プレスト」を買ったけれど、その後、何カ月にも「旅行」を買った。その間に「チャーム」を買って足しにくれました。私自身も、そんな楽しみを分けてくれた魅力に溢れていました。今から二十二年経って、地元の「山あいで」で自給自足の生活をしている人々にふれたことがあり、そして自分が暮らすそんなシンブルな生活が、いつかまた、自分が暮らすそんなシンブルな生活をしていく人々があるんだ。



高校生のための社会スタディ 優秀レポート ①

日本人よ、今居眠りしている

場合じゃない!



早稲田実業高等学校3年 川島 幸太郎

小さいころから多量にすつと元々木立上原に住んでいました。私が子供のころは、木立上原の中でコム跳びや馬跳びをしたり男の子たちは「ヘー」や「メンコ」をして遊んでいたもので、現在の井の頭通り、当時の「水通路」に寝そべったり、ロウ石でお絵書きしたりして、道路も立派な時代です。父はよく散歩がてら、私をいっしょに連れていってくれました。特に覚えていたのが表参道、普通の住宅街だった表参道「オリエンタルバザール」ができて、そこで「プレスト」を買ったけれど、その後、何カ月にも「旅行」を買った。その間に「チャーム」を買って足しにくれました。私自身も、そんな楽しみを分けてくれた魅力に溢れていました。今から二十二年経って、地元の「山あいで」で自給自足の生活をしている人々にふれたことがあり、そして自分が暮らすそんなシンブルな生活が、いつかまた、自分が暮らすそんなシンブルな生活をしていく人々があるんだ。

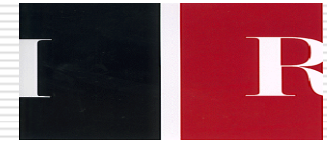
未来のライバルを知る中国旅行



北京紫禁城での一行

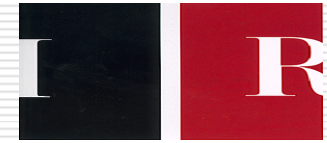
北京師範高校の教室チェック





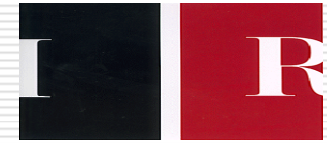
これまでの実績

- 10年3115名を超える受講者
- 受賞者56名・佳作56名の濃密なネットワーク
- 優れたOB・OGによるアドバイザー機能
- 30社近い優良企業からの協賛
 - ◆ 吉野屋/クレディセゾン/旭化成/野村証券/コナミ/セイコーエプソン
/NEC/JSAT/ジョンソン&ジョンソン/日清ファルマ/オデッセイコミュニ
ケーション/ネクストジャパン/ブックオフ/フューチャーテクノロジー/ノーリ
ツ鋼機/JR東海/アフラック/カシオ/積水化学工業/ルネサステクノロジー
/ロッテ/クラリオン/ベルシステム24/国際石油開発帝石/住友ゴム工業
/第一三共/日本AEパワーシステムズ/富士通(順不同)



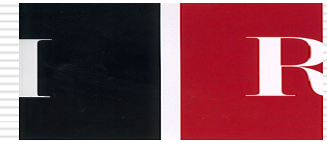
フリーアンサーから (1)

- 一つ目は、「社会に向き合って尚、底抜けに元気で明るい空気に触れたこと」です。僕らはたぶん生まれてからずっと、「社会」については、暗いニュースばかり聞いて育ちましたが、あの場は、「社会」に対して、前向きに何かを創りだしてやろうという底抜けに明るい空気に満ちていました。それは、先生方が前向きに仕事の中で楽しく冒険している話から伝わってきたのはもちろんですが、積極的な参加者を含め、会場すべてが創りだしていたと思います。そんな空気が、「おっしゃ、なんか俺もやるぞ！」という気分にしてくれました。二つ目、これはごくごく個人的なことですが、エデュフォは僕にとって、リスクとって踏み出して、大きなものを手に入れることができたという経験でもありました。もしかしたら、地方から参加した人など、同じように感じている人がいるかもしれませんが、地方に住む高校1年にとって、東京に行くというのはちょっとした冒険です。(夜行を使ったとしても)お金も結構かかります。しかし一歩踏み出して、やってきたら本当に楽しくて、前向きなエネルギーに自分も満ち溢れてきた。それは僕にとって、リスクとって挑戦した後に得られる成功体験として、とても大切なものでした。(鈴木稔人:東大大学院)
- 高校生の生活は、学校に行って授業を受けて部活に出て塾に行って…と月曜日から金曜日までルーティーン化された中で生きています。いい大学に行くことが全てとまでは言いませんが、みんな心のどこかでそのように思っていると思います。そんな中参加したエデュケーションチャレンジ。夏休みということもあって周りのみんなはほとんど夏期講習に行っていました。母に勧められていったはいいものの、周りのみんなが今この瞬間にもどんどんぬかされているのではないかと思いながら米倉先生の授業が始まりました。新しい価値をつくれ! どうして高校生にこんな難しいことを…と最初は驚きましたが、授業を受けているうちに高校生だからといってイノベーションを起こせない、ということはないということに気づかされました。エデュチャで得たものは夏期講習なんかよりもずーっと大きかったように思います!今まで持っていた偏見、先入観など全てのものがっ取っ払われたのです。(神野真美:東洋英和1年)



フリーアンサーから(2)

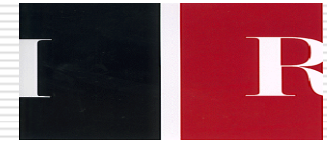
- 山口県のド田舎にいた私からすると、まず東京にくるだけで胸が高まります。学校にいただけでは日本の最前線で働く社会人の方に触れあう機会はまずなく、全国から集まるおもしろい同世代の高校生と出会うこともなかったです。残念ながら、学校の先生でおもしろい人はあまりいません。すべてがキラキラした東京で、楽しそうな大人の話聞く。私も田舎を抜け出して将来はこんな人たちに近づきたいと、ハングリー精神を少しくすぐられた気がします。学校では夢を語る機会がありませんでした。親やクラスの友達とは照れくささもあり夢を語る雰囲気はなく、先生も進学話ばかりで真剣に聞いてくれる風ではなかったです。エデュチャでは、社会人の方が自分の熱い想いを語ってくれます。(横浜国大4年)



フリーアンサーから (3)

- ◆ 社会の大人たちは頑張っているんだと思った。
- ◆ 日本はこのままやったらアカンと思いました。
- ◆ 自分の可能性を過小評価しないことは大切だと思った。
- ◆ 社会一会社は意外と夢をもってやりたいことができるのかなと思いました。
- ◆ イノベーションによって世の中は進化していくことを学びました。でも、イノベーションと言っても難しいものではなく、常に新しいものに目を向けてより良いものをつくろうとする心意気が大切なんだと思った。
- ◆ 高校の授業に比べ、グローバルな視点で世界を学ぶことができました。
- ◆ 自分が仕事で苦しくなる時が来たら、励まされるかもしれんと思った。
- ◆ “仕事”に興味を持つことができ、働くことが楽しみになった。
- ◆ 成功の裏には挫折があるのだと知った。
- ◆ 「あきらめるな」と数万回言われたが、久しぶりに納得できた。
- ◆ 本気で高校生活を送ろうと思った。

(2010年日経エデュケーションチャレンジ直後のアンケートから)



いくつかの突出事例

受講生は2010年2月現在、**3000人以上**にも及びます。なかでも、レポート優秀賞受賞者らは、大学進学後、ベンチャー起業を起こしたり、学生団体の立ち上げや、NPO活動に参加

中川結貴（なかがわ ゆき） 2004年受賞者

防衛大学校3年在学。

2011年1月8日に行われた「第27回 土光杯全日本青年弁論大会」
（主催：フジサンケイグループ、特別協賛：積水ハウス）で最優秀賞
を獲得。演題は、「未来の防人、主権無き国家を憂う」。



税所篤快（さいしょ あつよし） 2005年受賞者

アジア最貧国ドラゴン桜 e-Educationプロジェクト代表。

早稲田大学教育学部在学。

19歳で大学を休学、グラミン銀行GCCラボ初の日本人コーディネーターに就任。

仲間とGCMPプログラムを創設、運営。グラミンに日本人を100名送り込む。

20歳e-Educationプロジェクトを立ち上げグラミンより独立する。この活動によって2010年「みんなの夢アワード」大賞およびワタミ特別賞W受賞。

月刊 ソトコにて「20歳の社会企業入門！」連載中。

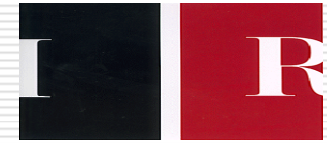


e-Education HP: <http://eedu.jp/>

大人たちも変わる

- 語ることによって、仕事の意味を理解する
- 会社・社会との関わりをより身近に感じてもらうために、各業種・業界の仕事内容を「イノベーション」という観点を通じて、「難しいことを簡単に、簡単なことを面白く、面白いことをより深く伝える」という作り込みを3ヶ月間近く行う。
- 自発的に生まれた「教員会議」
- 各地で行われる出前授業





高等教育における イノベーション教育の可能性

- 地元の経営者・研究者・商店経営者・ビジネスマンの生の話を組み込むというミニ版は可能
- しかし、ルーティンから解放し、異質な視点から刺激を与えるという意味で、敢えて東京・大企業によって行われるような本プログラムとの協業関係が望ましい
- モチベーションの高い多様な高校生と混ぜ合わせることによる化学変化も重要
- ソフト面の丁寧な作り込み(大人として扱う、可能性を高く評価する、講義内容の受講生目線のリファイン)が重要で、専門的集団の力が必要。